

永平寺町 同時発表

令和4年1月12日

永平寺町 MaaS モデル “近助タクシー” を福井県内・全国へ ～ホットとする地域支えあい交通 ホットな科学的知見に基づく安全性をパッケージ化～

永平寺町では、自家用有償旅客運送によるデマンド型乗合タクシー「近助タクシー」を実用化してから2年目です。今年度は、他地域でも実用化できるよう、「近助タクシー」の脆弱性の洗い出しを行い、安全対策を組み込みパッケージ化の構築に取り組んでいます。

他地域への拡大の第一歩として、近畿経済産業局では福井県、永平寺町と共同で、福井県内自治体向けに近助タクシーのノウハウを共有する研修会を令和4年1月18日に開催します。

1. 永平寺町 MaaS “近助タクシー”について

永平寺町では、高齢者の移動課題解決を目的に、永平寺町 MaaS としてデマンド型交通「近助タクシー」を導入し、令和2年10月から実用化を開始しており、利用者数も増加しています。

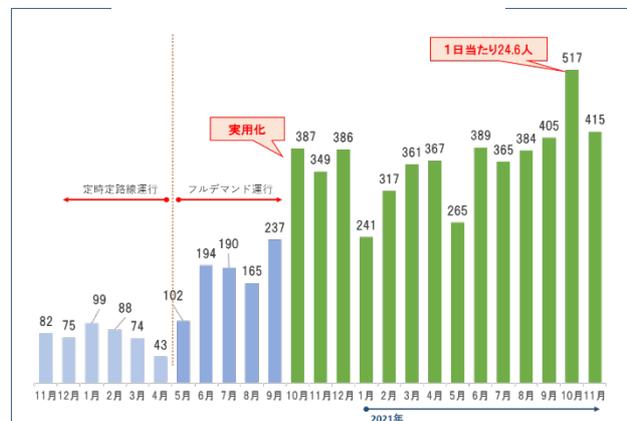
近助タクシーは、高齢者の外出促進や、近所同士の交流が活発になる等の利点があります。一方、地域住民自らが運転することで、安全基準や運行ルールが曖昧になりがちな部分があります。

そのため今年度は、「地域新 MaaS 創出推進事業」(別紙参照)を活用し、近助タクシーの運行の脆弱性を洗い出し、科学的な安全対策を組み込んだ、他地域でも実用化が可能なパッケージモデルの構築に取り組んでいます。

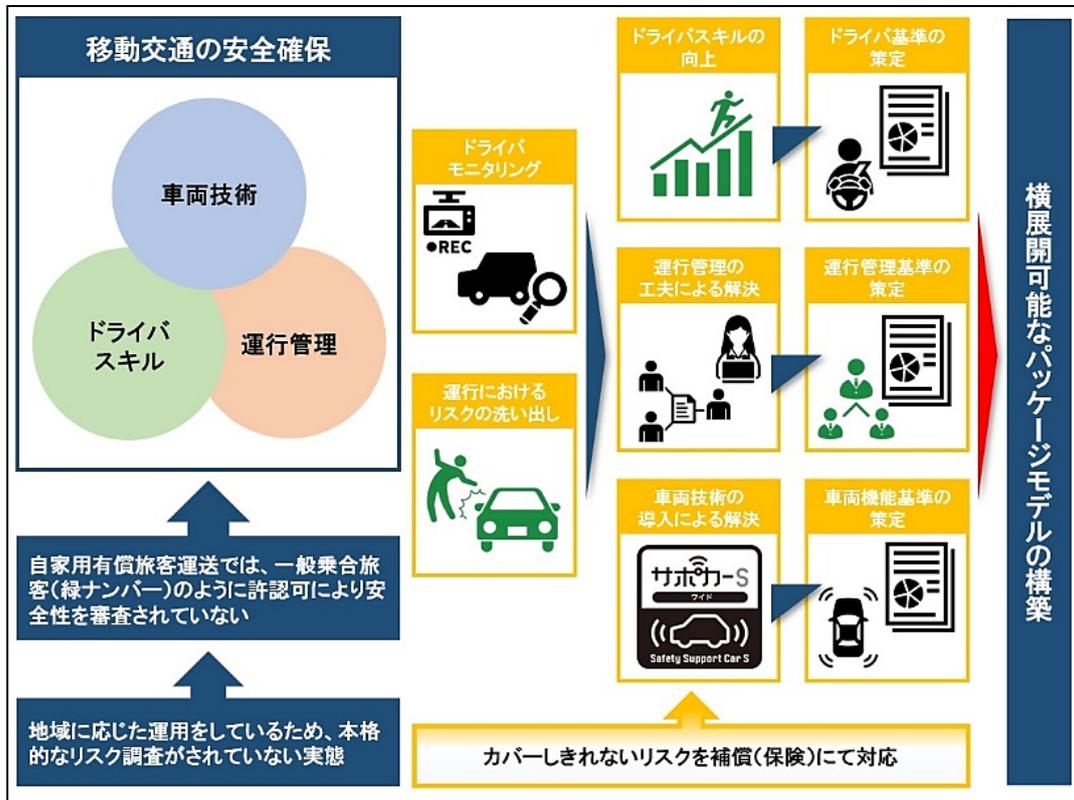
近助タクシーの仕組み



近助タクシーの運行実績



今年度の「地域新 MaaS 創出推進事業」内容



パッケージモデルは、「ドライバ基準、運行管理基準、車両機能基準、保険」の4点セットによって、他地域でも安全性を担保した上で自家用有償旅客運送を実用化できるように、汎用可能なものを構築する予定です。例えば、「ドライバ基準」とは、ドライブシミュレータ等を使い、ドライバースキルを客観的指標で表せられるようにします。

2. 近助タクシー研修会の開催

福井県の自治体担当者向けに、地域活性化と安全性を兼ね備えた永平寺町 MaaS モデル“近助タクシー”のノウハウを共有する研修を行います。

本研修では、座学だけでなく、データ取得を行う「ドライブシミュレータ」の実演を行い、永平寺町 MaaS モデルを、福井県内・全国に向け、発信していきます。※フルオープンで取材いただくことが可能です。

日時：令和4年1月18日（火）13:30-15:30

場所：福井県永平寺町四季の森複合施設旧傘松閣

（福井県吉田郡永平寺町山9号1番地2）

研修対象者：福井県内自治体

取材申し込み先：seisaku@town.eiheiji.fukui.jpに「ご所属、お名前、人数、ご連絡先」をご連絡ください。

申し込み期限：令和4年1月17日（月）17:00 まで

プログラム：別紙のとおり

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、イベント開催形態、内容を変更する可能性があります。

お問い合わせ先

（政策面について）

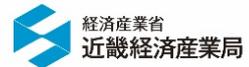
近畿経済産業局 次世代産業・情報政策課長 黒木

担当者：浅田、田中、木田 電話：06-6966-6008、FAX：06-6966-6008

（実証の内容について）

永平寺町 総合政策課

担当者：山村 電話：0776-61-3942



「近助タクシー研修会」
～自家用有償旅客運送（※）における
デマンド型乗合タクシーについての研修～

プログラム

1. あいさつ

13:30-13:40 永平寺町長 河合 永充
近畿経済産業局 地域経済部 次世代産業・情報政策課 課
長補佐 田中 宏明

2. 研修内容

13:40-13:55 自家用有償旅客運送の利用について
福井大学大学院 教授 川本 義海
13:55-14:05 永平寺町 MaaS プロジェクトについて
永平寺町総合政策課 主査 山村 徹
14:05-14:10 損害保険ジャパンの取組みについて
損害保険ジャパン(株) 福井支店支店長 竹生 知子
14:10-14:30 スマイルングロード、アクセスチェッカー紹介
SOMPO リスクマネジメント(株) 特命部長 竹村 公一
14:30-15:25 ドライブシミュレータ説明、見学、体験会
損害保険ジャパン(株) 福井支店
支社長代理 田中 さや果

3. 閉会あいさつ

15:25-15:30 福井県交通まちづくり課 課長 堤 宗和

※自家用有償旅客運送…

バス・タクシー事業が成り立たない場合であって、地域における輸送手段の確保が必要な場合に、必要な安全上の措置をとった上で、市町村やNPO 法人等が、自家用車を用いて提供する運送サービス。